

平成 2 3 年度

事業報告書

自 平成 2 3 年 4 月 1 日

至 平成 2 4 年 3 月 3 1 日

財団法人 庄内地域産業振興センター

1. 産業活性化推進事業

鶴岡市起業家育成施設入居事業者への経営相談・指導やコーディネーターによるビジネスマッチング、起業家・産業人材の育成や企業の経営革新を支援する経営セミナー等を開催したほか、地域企業間のネットワークづくりや産学官連携推進への取り組み、地域科学技術・農産物を活用した事業化・商品開発研究など地域産業の活性化をめざし各種事業を展開した。

(1) 経営サポート・新規創業支援事業

1) 起業家育成施設の運営

① 起業家育成施設の入居状況（3月31日現在）

【入居事業者】 ※平成23年度の新規入居事業者 2社

貸室	事業者名	代表者	業務内容	
A タイプ	25 ㎡	(株) iTOS	辻 博智	コンピュータソフトウェア設計・開発
		KMシステム工房	丸山 光一	三次元CAD機械設備等設計業
B タイプ	15 ㎡	キーレバー	佐藤 和人	中小企業様社内イベント・セミナーの企画運営
		アジュダンテ	石井 康記	介護リハビリテーションサービス事業
C タイプ	30 ㎡	鶴岡織物工業協同組合	鈴木 重雄	絹織物製品の製造・販売

起業家育成のため、職員・コーディネーターが日頃から入居事業者とコミュニケーションを図り、それぞれの課題に対し側面的な支援を行っている。

② コーディネーターの委嘱

経験豊富なコーディネーターを配置し、地域企業との情報交換等を図りながら、ビジネスマッチング・技術相談等に対応した。

委嘱者：木村 彰夫氏（前財団事務局長／元県工業技術センター庄内試験場長）

2) 「実践 起業塾」の実施（共催：鶴岡商工会議所、出羽商工会）

新規開業を目指している方、開業されて間もない方や新規事業をお考えの経営者の方々を対象に「実践 起業塾／特別講演会・ビジネスプラン作成講座」を実施した。

① 特別講演会

経営思想家でありマネジメントの父として多くの経営者、ビジネスパーソンに影響を与えるピーター・F・ドラッカーのマネジメントの理念や手法を学んだ。

- ・開催日：平成23年10月6日
- ・内容：テーマ「ドラッカーに学ぶ企業家精神」
- ・講師：ドラッカー学会監事(佐藤等公認会計士事務所長) 佐藤 等氏
- ・受講者：54名

② ビジネスプラン作成講座

- ・開催日：平成23年10月8日・15日・22日
- ・内容：新規開業時の具体的な事業計画、マネープランについて実践した。
- ・講師：(有) ティップス 代表取締役 尾形 恵子氏
- ・受講者：7名

3) 企業活動改善指導

生産現場改善活動の活性化をめざす地域製造業2社に対し、年間を通じて職員が出向

き、品質管理、TPM(全社的生産保全)やムダ取り等の改善指導を実施した。

(2) 産業人材育成事業

地域産業経済の継続的な発展・拡大を支える産業人材の育成を目的に、基盤技術力・創意工夫による課題解決力の向上に関する研修や、職業能力向上のための階層別・職能別の人材育成研修を実施した。

1) 次世代自動車産業技術者養成講座 (経済産業省・地域企業立地促進等事業)

① 「電子回路講座」

実施日：平成23年10月5日～11月9日 全6日(12時間)

受講者：9名

講師：鶴岡高専 電気電子工学科 教授 神田 和也 氏

② 「組込みシステム講座」

実施日：平成23年11月14日～1月31日 全10日(20時間)

受講者：8名

講師：鶴岡高専 電気電子工学科 教授 佐藤 淳 氏

③ 「先端高分子材料講座」

実施日：平成23年11月15日～12月21日 全6日(12時間)

受講者：15名

講師：鶴岡高専 物質工学科 准教授 佐藤 司 氏

鶴岡高専 物質工学科 教授 佐藤貴哉 氏

④ 「次世代自動車 最新動向・技術セミナー」(山形県産業技術振興機構との共催)

開催日：平成24年1月24日

内容：講演「次世代自動車産業の現状と今後の動向」

研修「ハイブリッド車部品機能・構造研修」

講師：(株)サンコーテクノネット 技監 飛田 宏 氏 (トヨタOB)

受講者：36名

⑤ 「ハイブリッド車分解部品展示会」(山形県産業技術振興機構との共催)

開催日：平成24年1月25日・26日

内容：トヨタ自動車のHV車「プリウス」の現行モデルを1台まるごと分解した部品約700点を展示。普段見ることのできない最新ハイブリッド車の機能・構造、主要部品や要素技術等のポイントをわかりやすく学習。

展示説明：(株)サンコーテクノネット 技監 飛田 宏 氏 (トヨタOB)

入場者：134名

2) ものづくりIT活用技術者養成講座 (経済産業省・地域企業立地促進等事業)

① 「3D-CAD実践モデリング講座」(2回)

実施日：平成23年9月13日・14日・21日・27日・28日 全5日(35時間)

平成23年10月26日・27日・11月2日・9日・10日

全5日(35時間)

受講者：9月講座 4名、10月講座 5名 計 9名

講師：「Solidworks」認定トレーナー

② 「3D-CAD構想設計・解析検証実践講座」

実施日：平成23年12月1日・2日・9日 全3日(21時間)

受講者：4名

講師：「Solidworks」認定トレーナー

3) ものづくり生産改善人材養成講座（経済産業省・地域企業立地促進等事業）

① 「TPS生産管理者講座」（全8回）

実施日：平成23年 9月22日（トヨタ生産方式の理解と応用／6時間）

平成23年10月 6日（現場管理者の役割と工場活性化計画づくり／6時間）

平成23年10月20日（リードタイム短縮への取り組み／6時間）

平成23年11月 4日（現場管理者のリードタイム削減／6時間）

平成23年11月18日（工場／ライン自動化への取り組み／6時間）

平成23年12月 1日（生産現場管理者の低コスト自動化計画／6時間）

平成23年12月15日（製造現場のコストと製造原価管理／6時間）

平成24年 1月12日（現場のやる気を引き出すモチベーションUP／6時間）

受講者：39名

講師：NECラーニング（株）

② 「生産現場改善スキルアップ講座」（全4回）

実施日：平成23年11月 7日（ムダ発見とムダ廃除、実習先工場での現場分析／6時間）

平成23年11月21日（実習先工場での現場改善と改善結果のまとめ／6時間）

平成23年12月 5日（ムダの研究と現場分析／6時間）

平成23年12月19日（分析結果の発表・宿題の発表／6時間）

受講者：24名

講師：園部 清志 氏（元山形ミツミ㈱取締役生産本部長）

4) 職業能力開発講座（鶴岡市産業人材育成支援事業）

〔階層別講座（4講座）〕

① 「新人・若手社員フォローアップ研修」

実施日：平成23年11月8日・9日（12時間）

受講者：14名

講師：(有)人材育成研究所エスオフィス 代表取締役 田中 成子 氏

② 「中堅社員研修」

実施日：平成23年9月13日・14日（12時間）

受講者：28名

講師：(有)人材育成研究所エスオフィス 代表取締役 田中 成子 氏

③ 「職場リーダー研修」

実施日：平成23年7月5日・6日（12時間）

受講者：17名

講師：(有)人材育成研究所エスオフィス 代表取締役 田中 成子 氏

④ 「管理者研修」

実施日：平成23年10月19日・20日（14時間）

受講者：17名

講師：(有)人材育成研究所エスオフィス 西村 直哉 氏

〔職能別講座（11講座）〕

- ① 「機械加工の基礎知識」
実施日：平成23年6月4日・11日・18日・25日（24時間）
受講者：8名
講師：県産業技術短期大学校庄内校 制御機械科 教授 飛田 成浩 氏、准教授 津田 勇 氏
- ② 「機械加工技能検定準備講座」（学科）
実施日：平成23年7月2日・9日・16日（18時間）
受講者：4名
講師：県産業技術短期大学校庄内校 制御機械科 教授 飛田 成浩 氏、准教授 津田 勇 氏
- ③ 「電子機器組立レベルアップ講座」
実施日：平成23年6月18日・25日・7月30日（18時間）
受講者：13名
講師：マイクロソルダリング技術インストラクター
- ④ 「シーケンス制御基礎講座」
実施日：平成23年10月11日・18日・25日・11月1日（8時間）
受講者：5名
講師：鶴岡高専 電気電子工学科 准教授 保科 紳一郎 氏
- ⑤ 「機械保全技能検定準備講座」
実施日：平成23年12月17日・平成24年1月6日・7日（18時間）
受講者：28名
講師：山形航空電子㈱ 松井 朗 氏（機械保全特級技能士）
- ⑥ 「営業・セールス研修」
実施日：平成23年7月14日・15日（12時間）
受講者：8名
講師：カスタマーズアイ 代表 中村 俊雄 氏
- ⑦ 「教育訓練マネジメント」
実施日：平成23年9月8日・9日（13時間）
受講者：21名
講師：TWI トレーナー 鈴木 芳寛 氏
- ⑧ 「決算書がスラスラわかる 財務3表マスター講座」
実施日：平成23年10月28日（6時間）
受講者：37名
講師：(有)ボナ・ヴィータ コーポレーション 代表取締役 國貞 克則 氏
- ⑨ 「データベース入門」
実施日：平成23年10月4日～11月15日 全12日（30時間）
受講者：6名
講師：(有)マルチソフト 代表取締役 工藤 良男 氏
- ⑩ 「データベース活用」
実施日：平成23年11月22日～12月20日 全5日（32.5時間）
受講者：7名
講師：(有)マルチソフト 代表取締役 工藤 良男 氏
- ⑪ 発想型仮説を活用した「ビジネス創造力養成講座」

実施日：平成24年2月17日・3月1日・8日・22日（22時間）
受講者：12名
講師：㈱クルー 代表取締役 馬場 了氏（インダストリアルデザイナー）

5) 新社会人就職スタートセミナー（鶴岡市産業人材育成支援事業）

① 新社会人スタートセミナー2012

ア. 「新社会人の基礎講座」

- ・実施日：1回目/平成24年2月21日、2回目/平成24年2月22日
- ・受講者：1回目/46名、2回目/42名
- ・講師：㈱メルサ 専務取締役 鈴木 奈智子氏（キャリアカウンセラー）

イ. 「実践的ビジネス・接客マナー講座」

- ・実施日：平成24年2月24日
- ・受講者：56名
- ・講師：㈱荘内銀行 コールセンター サブマネージャー 須佐 恵美氏

ウ. 「特訓!! コミュニケーション・スキルアップ講座」

- ・実施日：平成24年2月23日
- ・受講者：37名
- ・講師：フリーアナウンサー 大友 まさみ氏

エ. 「製造・生産現場の基礎知識」

- ・実施日：平成24年2月24日
- ・受講者：56名
- ・講師：(財)庄内地域産業振興センター 人材育成チーフマネージャー 村岡 幸弘

② しごとセミナー

- ・実施日：平成24年3月16日
- ・内容：高校2年生を対象とした職業説明会
 - ・ハローワーク鶴岡 職業講話
 - ・地元の5業種による“しごと講話”（福祉、宿泊業、縫製業、販売、製造業）
- ・受講者：83名

(3) バイオクラスター基盤構築事業（山形県ふるさと雇用再生特別基金事業）

1) 産学コーディネート活動等の実施

コーディネーター2名を配置し、地域イノベーション戦略支援プログラム事業(文部科学省)と連携を取りながら、大学・公設試等のバイオ研究成果の実用化のため、県内企業等に研究成果を紹介し、商品の試作開発・プロモーション活動を行った。

2) バイオ関連展示会への出展活動

地域イノベーション戦略支援プログラム事業の研究シーズや研究成果品を外部へ発信するため、国内外の先進的なバイオテクノロジーの研究開発等を展開している企業、研究機関等が数多く参加する「バイオジャパン2011」へ3日間出展した。

- ・展示会名：「バイオジャパン2011」
- ・開催期間：平成23年10月5日～7日

・会 場：国際平和会議場(パシフィコ横浜)

3) 「バイオ・カフェ」の開催(2回)

バイオ研究とその事業化・実用化推進を目的に、バイオテクノロジーの研究者を招聘し、研究成果等について講話いただく知的交流の場としてバイオ・カフェを開催した。

① 「地域農産物の高付加価値化を目指して I」

開催日：平成23年9月20日

内 容：講演「地域農産物のメタボローム解析」

慶應義塾大学先端生命科学研究所 特別研究講師 及川 彰 氏
研究事例発表

・「ネバネバ成分の増加した体に良さといもの栽培技術開発と品種育成」
山形県農業総合研究センター園芸試験場 主任専門研究員

五十鈴川 寛司 氏

・「カキの機能性成分を高める生産技術開発の取組み」

山形県庄内総合支庁農業技術普及課産地研究室 開発研究専門員

近野 広行 氏

・「山形県が開発したフキノトウ品種「春音」の特性と機能性成分を高める栽培技術」

山形県最上総合支庁農業技術普及課産地研究室 専門研究員

岡部 和広 氏

参加者：42名

② 「地域農産物の高付加価値化を目指して II」

開催日：平成24年1月27日

内 容：講演1 「ラフランスの化粧品開発について」

日東ベスト(株) 新素材研究課 研究員 滝田 潤 氏、小野寺紗智 氏

講演2 「サトイモの新たな健康機能を探る」

(株)機能性ペプチド研究所 取締役所長 星 宏良 氏

参加者：48名

4) 庄内地域食産業クラスター推進事業(山形県補助事業)

地域イノベーション戦略支援プログラム事業の成果品を活用した商品・試作品の販路開拓支援として、以下8つの催事等へ出展した。

① 地域資源ブランド化事業 in 鶴岡 成果発表会

開催期日：平成23年9月5日

開催場所：鶴岡メタボロームキャンパス

② 第61回山形県農林水産祭「秋の食彩祭り」

開催期日：平成23年10月15日・16日

開催場所：山形県総合運動公園(天童市)

③ 緑の鶴岡 農林水産祭

開催期日：平成23年10月15日・16日

開催場所：小真木原公園(鶴岡市)

④ つるおかお菓子まつり2011

開催期日：平成23年10月22日・23日

開催場所：庄内産業振興センターマリカ市民ホール

⑤ ファーマーズマーケット

開催期日：平成23年11月5日・6日
開催場所：青山・国際連合大学前広場(東京都渋谷区)

⑦ 第13回江戸川区産業ときめきフェア
開催期日：平成23年11月18日・19日
開催場所：タワーホール船橋(東京都江戸川区)

⑧ 山形アンテナショップ「おいしい山形プラザ」
開催期日：平成24年2月25日・26日
開催場所：おいしい山形プラザ(東京都中央区銀座)

(4) 産学官連携推進事業

1) 鶴岡高専技術振興会の運営

鶴岡高専と地域企業との連携並びに研究開発能力の向上等を支援するため、鶴岡高専技術振興会を運営した。

- ・役員会・総会の開催：平成23年6月3日
- ・助成研究：13件 会員企業：59社
- ・技術相談：36件
- ・産業技術フォーラム：12月2日(鶴岡)、3月6日(酒田)

2) 地域連携事業「柿のおへぎ膳」再生プロジェクト

湯田川温泉旅館組合と協力して、湯田川温泉にある江戸時代の古文書に記載されていた「柿御膳」を現代風に再現し、地域の歴史や食文化を探りながら地域の活性化を図る事業を実施した。

[湯田川温泉「柿のおへぎ膳」を楽しむ会]

- ・開催日：平成23年11月9日
- ・会場：湯田川温泉コミュニティセンター
- ・参加者：28名
- ・内容：湯田川温泉女将会による現代風柿膳の試食会
講話「柿と日本人の長くて深いおつきあい」
講師：山形大学農学部 教授 平 智 氏

3) 庄内地域再生可能エネルギー利活用調査事業（山形県庄内総合支庁委託事業）

庄内の地域特性を活かした再生可能エネルギーの利用拡大のため、学識経験者らによる庄内地域再生可能エネルギー利活用調査検討委員会（委員長 丹 省一 鶴岡高専名誉教授 委員6名）を設置し、利活用調査業務を行った。

- ・庄内地域再生可能エネルギー利活用調査情報交換会
開催日：平成24年1月20日
会場：庄内産業振興センター 第1研修室
参加者：17名
- ・庄内地域再生可能エネルギー利活用調査事業報告会
開催日：平成24年3月23日
会場：庄内産業振興センター 大会議室
参加者：41名

4) 地域産学官連携促進事業(農商工観連携促進)の実施(鶴岡市ふるさと雇用再生特別基金事業)

① 産学官連携コーディネート活動等の実施

地域農商工連携の促進等、地域産業の活性化を効果的かつ円滑に推進するための各種事業推進を実施するため、職員2名(プロデューサー1名、コーディネーター1名)を配置した。

② 農商工観ネットワークの形成

ア. 農商工観連携マッチング相談会の開催

- ・日時：平成23年7月28日
- ・参加企業：24社

イ. メールマガジンの発行

- ・月2回の発行(毎月第2・第4木曜日)

③ 実践プロジェクトの実施

ア. 「山里海のフード・ツーリズム創出」(鶴岡食文化女性リポーター事業)

従来の着地型ツーリズム枠組みを超えて、Facebookやツイッターブログなど個人の発信力を利用し、県内外の鶴岡ファンを広げて行く社会実験

- ・日時：平成23年10月20日 田川かぶ(田川)
- 平成24年1月27日 岩のり(鼠ヶ関)

イ. ご当地グルメ開発

主要道路の沿線ある観光施設や産直施設、道の駅、料理人が連携して、地域の食文化や食材を生かして手軽に食べられる(フィンガーフーズ)の開発を行った。

- ・発表会 平成23年9月28日 参加者 60名
- ・発売日 平成23年9月30日 参加企業店舗

ウ. 「ファーマーズ・マーケット」への出展

鶴岡産農林水産物の付加価値を高め、販路開拓のための情報発信を行なうとともに、首都圏の料理人とのネットワークづくりを展開するため出展した。

- ・日時：平成23年11月5日・6日
- ・場所：東京都青山 国連大学前広場

エ. 「食の匠—モノづくり振興」プロジェクト(さといもプロジェクト)

地域農林水産物さといもを活用し、農商工観の連携により新たな食品加工や需要の開拓に取り組む。

- ・発表会 平成24年3月5日
- ・開発企業 8企業/開発商品 10品
- ・参加者 110名

5) 鶴岡バイオクラスター産業化推進事業の実施(鶴岡市ふるさと雇用再生特別基金事業)

① 産学官連携コーディネート活動等の実施

慶應義塾大学先端生命科学研究所の研究成果をに波及・促進し、地域産業の活性化を図るための各種事業を実施するため、職員2名(プロデューサー1名、コーディネーター1名)を配置した。

② 鶴岡メディカルビジネスネット事業(やまがた地域産業応援基金助成事業)

高度な技術力を持つ地元中小企業の新事業分野への進出促進策として、今後成長が有望視される医療機器産業の創出を目的に地域企業等26社が参加する「鶴岡メディカルビジネスネット」を設立。地域の医療現場を視察し、意見交換を重ね、3月には荘内病院に「与薬カート」を納品した。

③ 藻類バイオマス工業利用プロジェクトの実施

慶應先端研のオイル産生微細藻研究において、藻が体内に溜め込む脂質の中には、

化粧品(植物由来物質)に利用可能な成分も含まれているが、これに着目した地元企業との間で、化粧品原料開発のための共同研究プロジェクトを開始した。

④ 鶴岡漢方プロジェクトの実施

日本有数の農業生産地であり山大農学部や慶應先端研のバイオ知見を有する鶴岡市において、耕作放棄地等を活用した、漢方生薬の生産・加工及びその応用を目指す。

⑤ 日本酒ブランディングプロジェクトの実施

慶應先端研のメタボローム解析技術を活用し、鶴岡の地酒の機能性成分と旨味を科学的に明らかにするとともに、日本酒造りの工程に科学的知見を応用し、消費が低迷する日本酒のイメージアップを図る。

(5) 企業間交流・連携促進事業

1) 経営者フォーラム等の実施

「木曜フォーラム」

・開催日：平成23年8月25日

・内容：講話1 「トヨタ生産方式の真髄はコストダウンにあり！」

元トヨタ自動車(株) 車種担当部長 石原 重親 氏

講話2 「庄内環境マネジメント研究会 省エネ活動事例紹介」

庄内環境マネジメント研究会幹事企業 (東北エプソン(株)、(株)山形ケンウッド)

・参加者：40名

「経営者フォーラム」(共催：鶴岡商工会議所、出羽商工会)

“現場力”とは何か、強い現場を造るために経営者は何をすべきかを「現場力を鍛える」

「見える化」の著書で知られる講師に招き、企業戦略を実行するために重要な「強い現場力」について考えるセミナーを開催した。

・開催日：平成24年3月13日

・内容：テーマ「日本の宝—現場力—を掘り起こせ！」

・講師：早稲田大学ビジネススクール 教授 遠藤 功 氏

・参加者：80名

2) 鶴岡ビジネスコミュニティ・サロンの開催

① 平成23年 6月23日 視察 (秋山鉄工(株))

② 平成23年11月22日 視察 ((株)アサヒニイズマ)

③ 平成24年 1月31日 視察 (新年懇談会)

3) 「私のかいぜん発表会」の開催 (共催事業)

実施日：平成23年11月26日

内容：地域企業による「かいぜん活動」発表交流会 (発表企業8社)

参加者：217名 (36社)

(6) 販路開拓事業

1) 「庄内柿ジュース」ANA(全日空)国内線機内ドリンクサービス採用に係るPR実施

ANA国内全線機内サービス“ANA My Choice”に地域オリジナルドリンクとして「庄内

柿ジュース」が初めて採用された。ANA国内線利用者(月間約330万人)に対し、「庄内柿ジュース」をPRすることができ、販売促進や新規販路開拓に大きな期待が持てると共に、山形県庄内地域の観光・文化のPRにつながることから、事前のプレスリリース等、広報宣伝に努めた。

〔採用内容〕

- ・期 間：平成23年10月～12月 3ヶ月間
- ・内容量等：180ml ボトル（新開発）
- ・販売目標：約2万本
- ・報道機関：庄内日報、山形新聞、朝日新聞、毎日新聞（Webサイト含む）他

2) 「鶴岡お菓子まつり2011」の開催（共催事業）

実施日：平成23年10月22日・23日（於：マリカ市民ホール）
 内 容：鶴岡の銘菓展示販売、お菓子づくり体験・講習会、創作菓子展 他
 共 催：鶴岡菓子協同組合
 入場者：約2,100人

3) 「つるおか工業博覧会2011」の開催（共催事業）

実施日：平成23年10月15日・16日（於：鶴岡市朝暘武道館）
 内 容：鶴岡地域の企業による製品展示・実演、体験・実験コーナー 他
 共 催：つるおか工業博覧会実行委員会
 来場者：約5,500人

4) 地域伝統工芸技術保存のための活動助成支援(鶴岡竹塗り保存会)

2. 施設管理運営事業

指定管理者として利用者の利便性と窓口サービスの向上等を心がけ、施設の効率的な管理運営を行った。

(1) 庄内産業振興センター施設利用状況（マリカ西館：市民ホール等、マリカ東館：研修室等）

用 途	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
披露宴	1	2	3	1	0	2	1	5	0	0	0	2	17	2%
展示会	0	0	0	0	1	0	2	0	0	3	2	0	8	1%
研修 会議等	29	35	43	51	43	62	56	59	47	32	42	55	554	77%
飲食会	9	6	7	23	22	6	11	12	12	18	9	10	145	20%
合 計	39	43	53	75	66	70	70	76	59	53	53	67	724	100%

3. 地域科学技術振興事業（文部科学省 地域イノベーション戦略支援プログラム事業／特別会計）

鶴岡庄内地域の大学や公設試験研究機関が優位性を持つ最先端のバイオ技術、地域農産物に関する知見等を有効に活用して、地域農産物に含まれる機能性成分の有効性を検証・評価する機能評価システムを運用し、地域農産物等の栽培技術開発、品種育成や高機能加工食品等の開発に取り組んだ。

エリア名：鶴岡庄内エリア

課題名：機能評価システムの構築と地域農産物を活用した高機能食産業クラスターの形成

研究期間：平成21年6月～平成24年3月

参画機関：20機関（産14、学2、官4）

中核機関：財団法人庄内地域産業振興センター

（1）事業推進体制

1）科学技術コーディネーターの配置

鶴岡庄内エリアにおける産学官連携の促進と研究成果の事業化のため、科学技術コーディネーター2名、産学連携・事業化推進アドバイザー1名を配置した。

2）委員会・交流会・シンポジウム等の開催

プロジェクトの事業方針、年度計画の協議や研究計画・成果についての情報共有を目的に各種委員会・交流会及び農業や食品分野におけるメタボローム解析技術の活用事例などを発表する「アグリメタボロームシンポジウム」を開催した。

① プロジェクト統括委員会・研究推進委員会の開催

ア. 第1回プロジェクト統括委員会

・日時：平成23年7月5日

イ. 第1回研究推進委員会

・日時：平成23年7月5日

ウ. 第2回研究推進委員会

・日時：平成24年2月8日

② 研究交流会の開催

ア. 第1回研究交流会

・日時：平成23年9月13日

イ. 第2回研究交流会

・日時：平成23年2月8日

③ アグリメタボロームシンポジウムの開催

・日時：平成23年7月29日

3）研究成果発表会の開催

平成21年度から3年間の研究開発や、研究成果に基づく中間素材を活用した商品開発、様々な研究成果や事業化への取り組み等について、研究者・企業・一般市民等へ幅広く情報発信すると共に、今後の事業化への推進を目的に開催した。

・日時：平成24年2月15日

・内容：特別講演「地域食料資源を活用した機能性食品開発の動向とその視点」
事業成果報告、研究成果発表（研究テーマ毎）

（2）研究開発

1）研究テーマ

① 地域農産物の機能性成分の探索と機能評価システムの構築

慶應義塾大学先端生命科学研究所のメタボローム解析技術、山形大学農学部の遺伝疾

患モデル動物試験、(株)機能性ペプチド研究所のヒト系培養細胞試験を組合せた機能評価システムを試験的に運用し、地域農産物等の機能性評価を行った。

参画機関：慶應義塾大学先端生命科学研究所、山形大学農学部、日東ベスト(株)、(株)機能性ペプチド研究所、ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株)

研究代表：慶應義塾大学先端生命科学研究所 教授 曾我 朋義 氏

研究内容：ア. 庄内柿に機能性成分であるスコポレチン及びその配糖体スコポリンが含まれている事を明らかにした。庄内柿は、食品加工の際の加熱処理によって遊離アミノ酸であるシトルリン、GABAの含有量が増加することを確認した。

イ. スコポレチンを自然発症高血圧ラットに食事として投与した結果、抗高血圧作用を示すことを確認した。

ウ. 庄内柿に含まれる数種のフラボノイドが2型糖尿病モデルマウスにおいて抗糖尿病効果を示すことを確認した。

エ. さといも(孫芋、親芋)抽出物に血管内皮細胞が産生するエンドセリンの抑制効果が認められた。

オ. 庄内メロンの葉抽出物及び種子に皮膚の表皮角化細胞に対する分化促進作用があることを確認した。

② 農産物の機能性を高める栽培技術の開発と品種育成

メタボローム解析技術やアミノ酸分析などを用いて、灌水条件や温度条件などの環境要因による農産物の機能性成分含有量の変化を捉え、栽培技術開発や品種育成のため研究試験を実施した。

参画機関：山形県農業総合研究センター園芸試験場、山形県庄内総合支庁庄内産地研究室、山形県最上総合支庁最上産地研究室

研究代表：山形県農業総合研究センター園芸試験場長 竹田 富一 氏

研究内容：ア. 「平核無」は、樹上脱渋処理によりアミノ酸類、スコポレチンが増加した。

イ. 収穫後の機能性成分含有量の変化については、樹上脱渋処理した場合、ガス脱渋処理に比べ、スコポレチン含量が減少しにくいことが明らかとなった。

ウ. 重イオンビームにより変異処理したサトイモから機能性成分の多いと考えられる孫芋を多く生産する1系統を選抜した。

エ. ふきのとう「春音」は、20℃、暗黒の条件下で促成栽培すると機能性成分が高めることが可能であるとともに、外観品質を保持できることを明らかにした。

③ 機能性を活かした食品加工開発と商品開発

山形大学農学部、山形工業技術センターと地域企業が連携し、庄内柿等の地域農産物を活用した高機能柿酢や高機能パウダーの試作開発、それらを活用した加工食品の試作開発を行った。

参画機関：山形大学農学部、山形県工業技術センター、日東ベスト(株)、G&Gサイエンス(株)、(株)ブルボン、丸善食品工業(株)、(株)佐徳、(株)マルトモ、(有)木村屋、(有)竜泉・滝川、鶴岡市農業協同組合、山形県農工連、櫛引農工連、鶴岡菓子協同組合、(株)高研 他

研究代表：山形大学農学部 教授 五十嵐 喜治 氏

研究内容：ア. イエローマジックジュース(酢)の栄養成分や機能性成分を分析し、商品化や商品ラベルへの栄養成分、機能性成分の表示を指導・支援した。

イ. 加熱による渋戻り、退色、離水を防止し、β-クリプトキサンチン、ゼ

- アキサンチンなどの機能性成分の含有量が高い庄内柿ペーストの製造方法を確立し、企業へ技術移転した。
- ウ. ラフランスパウダーを活用した化粧品開発を行い、保湿ジェルを開発した。
- エ. 低温真空フライ技術により、食感、風味に優れたサトイモチップスを試作開発した。

(3) 研究成果を活用した商品開発・販路開拓支援

本事業における研究成果である「庄内柿パウダー」などの各種パウダー、渋戻りを防止した「庄内柿ペースト」や機能評価システムにより含有される健康機能性成分を明らかにした「庄内柿ジュース」を活用した創作和洋菓子を試作開発した。加えて、血圧上昇に作用するエンドセリンの産生を抑制することが明らかとなったサトイモを活用し、サトイモパウダーやサトイモチップスを試作した。また、販路開拓支援として、食品バイヤー、メーカーなどが多数参加する「スーパーマーケット・トレードショー 2012」及び「FOODEX JAPAN2012」へ出展し、来場者へ成果を紹介するとともに、試飲・試食を実施し、効果的なPRを実施できた。

- ① 「スーパーマーケット・トレードショー 2012」への出展
 - ・期間：平成24年2月1日～2月3日
 - ・場所：東京ビッグサイト
- ② 「FOODEX JAPAN2012」への出展
 - ・期間：平成24年3月6日～3月9日
 - ・場所：幕張メッセ

4. 戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省 戦略的基盤技術高度化支援事業／特別会計）

電気自動車車載用コモンモードラインフィルタについて、川下企業の抱える課題及びニーズを踏まえ、高速自動巻線が可能で、磁束漏れのない一体口の字型を採用し、粉末冶金技術の高度化により透磁率7,000で且つ140℃以上のキュリー温度を有する新たなフェライト材料及び「短納期化」と「コスト低減」を実現すめための高速自動巻線システムを研究開発した。

課題名：電気自動車車載用コモンモードラインフィルタの生産技術の開発
研究期間：平成23年2月～平成24年1月
研究機関：株式会社ウエノ、日本重化学工業株式会社、株式会社グローバルマシーン
中核機関：財団法人庄内地域産業振興センター

(1) 研究開発内容

- ① 磁性特性の向上に関する研究開発（(株)ウエノ、日本重化学工業(株)酒田事業所）
 - ・小型軽量化及び高効率化に資するフェライトコア及び製品の設計
 - ・高透磁率、高インピーダンス、高キュリー温度フェライトコアの開発
- ② 高速自動巻線システムの研究開発（(株)グローバルマシーン、(株)ウエノ）
 - ・コイルリング技術の開発
 - ・先端末端処理技術の確立
- ③ 事業化に関する研究開発（(株)ウエノ）
 - ・顧客への試作品の評価
 - ・事業化に向けての市場調査

(2) 研究推進委員会の開催（2回）

・日時：平成23年10月20日、平成24年1月18日

5. 理事会・評議員会の開催状況

財団法人庄内地域産業振興センター寄附行為第24条及び第31条に基づき、理事長がそれぞれ招集した理事会及び評議員会は次のとおりであり、それぞれ承認を得た。

- (1) 理事会
- | | |
|---|--|
| 平成23年5月30日 | 議第1号 平成22年度 事業報告の承認について
議第2号 平成22年度 収支決算の承認について
議第3号 新公益法人制度改革への対応について
議第4号 新公益法人制度における最初の評議員の選任方法等について
議第5号 評議員の選出について |
| 出席 10名
欠席 1名
出席監事 2名
(うち代理出席1名) | |
| 平成23年8月8日 | 議第1号 平成23年度 一般会計補正予算について
議第2号 平成23年度 特別会計予算の借入金限度額の変更について |
| 出席 10名
欠席 1名
出席監事 1名
(うち代理出席1名) | |
| 平成24年3月29日 | 議第1号 平成24年度 事業計画について
議第2号 平成24年度 収支予算について
議第3号 特別会計設置規程の廃止について
議第4号 評議員選定委員会設置運営規則の制定について
議第5号 評議員選定委員会委員の選任について
議第6号 最初の評議員候補者の推薦について
議第7号 評議員の選出について |
| 出席 10名
(うち書面表決2名)
出席監事 1名
(うち代理出席1名) | |
- (2) 評議員会
- | | |
|-----------------------|---|
| 平成23年5月27日 | 議第1号 平成22年度 事業報告の承認について
議第2号 平成22年度 収支決算の承認について
議第3号 新公益法人制度改革への対応について
議第4号 新公益法人制度における最初の評議員の選任方法等について |
| 出席 15名
(うち書面表決10名) | |
| 平成23年8月8日 | 議第1号 平成23年度 一般会計補正予算について
議第2号 平成23年度 特別会計予算の借入金限度額の変更について |
| 出席 15名
(うち書面表決6名) | |
| 平成24年3月23日 | 議第1号 平成24年度 事業計画について
議第2号 平成24年度 収支予算について
議第3号 特別会計設置規程の廃止について
議第4号 評議員選定委員会設置運営規則の制定について
議第5号 評議員選定委員会委員の選任について
議第6号 最初の評議員候補者の推薦について |
| 出席 15名
(うち書面表決8名) | |
- (3) 監事監査 平成23年5月20日 平成22年度 事業報告書・決算報告書の監査業務

6. 基金運用状況

低金利が続く中、安全・確実な国公債を中心に基金の運用を行った。平成24年3月31日

現在の運用状況は次の表のとおりである。

運 用 銘 柄		運用額(千円)
共同発行市場公募地方債 (第 32 回)	期間 10 年／年率 1.6%	20,000
兵庫県公債 (平成 21 年度第 25 回)	期間 10 年／年率 1.54%	20,000
日本国債 (第 120 回)	期間 20 年／年率 1.6%	59,100
定期預金 (鶴岡信用金庫)	期間 1 年	1,000
合 計		100,100

平成23年度の主な事業(記録)

経営サポート・新規創業支援事業



起業家育成施設の運営



「実践 起業塾」(10月)



産業人材育成事業 (8月～3月)



「自動車基盤技術者養成講座」(10月～1月)
—鶴岡高专連携—



「3D-CAD技術者養成講座」(9月～12月)



「職業能力開発講座」(6月～3月)



「生産現場改善スキルアップ講座」(11月～12月)



「次世代自動車 最新動向・技術セミナー/HV車分解部品展示会」(1月)



「しごとセミナー」(3月)



バイオクラスター基盤構築事業

BIO JAPAN 出展(3月)



バイオカフェ(9月・1月)



企業間連携促進事業

「経営者フォーラム」(3月)



「木曜フォーラム」(8月)



取引拡大・販路開拓事業

「庄内柿ジュース」販路開拓支援(10月)



鶴岡お菓子まつり(10月)



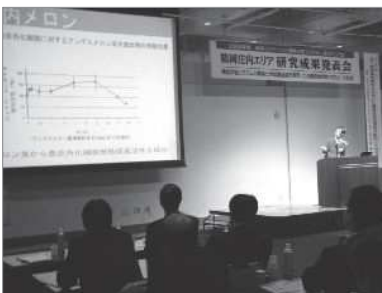
経産省・戦略的基盤技術高度化支援事業

電気自動車車載用
コモンモードラインフィルタ
の生産技術の開発



文科省・地域イノベーション戦略支援プログラム

研究成果発表会(2月)



スーパーマーケット・トレードショー/FOODEX JAPAN 出展(2月・3月)

